

# 平成28年度 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 評価報告書

## 1. 教育理念・教育目標

〈教育理念〉外国語教育とマナー教育をベースに、航空・観光・国際ビジネス業界などに必要な専門教育を施すとともに、様々な接客サービスに関する知識、技能と高いプロ意識を持った人材の育成を持って社会に貢献する。

〈教育目標〉「学歴」よりも「何ができるか」が求められる時代において、「わかる」だけでなく「できる」人材を育成するために、下記の3点を教育目標とする。

1. 専門職種に直結した知識・技能の習得と資格取得を目指す
2. グローバル化された社会に対応すべく、聞いて理解でき、話せる実践語学力の習得を目指す
3. すべての仕事に通じるホスピタリティマインド（おもてなしの心）の育成を目指す

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

S-AIR ブランド確立のために、教育力の強化、量的及び質的向上を目指した就職活動、それらに裏付けられた学生募集活動の成功、文科省の「職業実践専門課程」の推進を行うとともに、収支の安定化を図る。

- ・即戦力と成り得る英会話力の強化と卒業研究制度の確立を推進する。
- ・各科目のテキスト化を推進する。
- ・求人企業200社を目標とし、就職希望者のうち、50%以上を目標優良企業へ就職させる。
- ・入学定員110名を確保する。
- ・学生の教育満足度を向上させる。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価方法： 4（適切） → 3（ほぼ適切） → 2（やや不適切） → 1（不適切）

### (1) 教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4
1-2	学校における職業教育の特色が明確に示されているか	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
自己 総合評価		<b>3.8</b>

#### 成果と課題

本校の教育理念並びに教育目標や教育の特色については、入学前の「学校案内書」及び入学時に配布する「学生便覧」に記載し、入学後直ちに学生全員に説明し周知を図っている。本校教育の基盤そして特色となる英語・マナー教育と専門教育については、同じく「学生便覧」「学校案内書」などに明示されている。将来の社会ニーズを踏まえた将来構想については、校舎等物理的な問題を抱えており、学科・コースの統廃合を検討しての実現に努力するところではある。「学校案内書」「HP」「学生便覧」「求人案内」等を通して周知が図られており、S-AIRブランドとして企業や高等学校にも認知されつつある。業界ニーズとの整合性については、「職業実践専門課程」の申請や実行を行う過程において、各企業からの教育アドバイスや提案をカリキュラムに反映することで、現実に即した人材育成の方向性がより明確になった。

#### 今後の改善方策

教職員全員の質の向上と均一化、目指す目標の方向性の統一化を推進し、学校の教育力の安定化及び強化を行う。また、学校経営の更なる向上を目指すため、入口の広報戦略や出口の就職戦略をよりきめ細やかなものとする。

学校関係者 評価コメント

- ・高い教育理念を目標に今後も運営して頂きたい。
- ・生徒一人一人が学校理念・教育目標を理解しているのか不明でした。
- ・質問として「教育理念」は創立以来変わっていないのか」をさせていただいた。

学校関係者評価平均 3.9

(2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
自己 総合評価		3.9

成果と課題

例年通り、科目の目標と授業方法、授業内容および教務規定に基づいた前期・後期の成績付けの基準が示されたシラバスを授業の初回に配布している。各科のカリキュラムは、平成28年度で3学科とも認定された文科省の職業実践専門課程の運用方針に従い、年2回の教育課程編成委員会を通して、コース毎に関連業界団体と企業にチェックを頂きながら、引き続き改定・推進を図っている。年度初めに、授業科目の構成と資格取得について年間スケジュールを配布しながら学生にガイダンスを行い、特に資格取得の実施に際しては、年間実施計画を新たに作成し、体系的な取得を目指した。また、変化する社会ニーズに応えるべく教員研修も積極的に行っており、職業実践専門課程の趣旨に従い、企業への教員研修もコース毎に実施している。

今後の改善方策

学生に配布したシラバス内容の実施状況が把握できるように教員の授業記録に併記することを試みている。また、テキストのオリジナル化を推進することにより、本校の学生にフォーカスした教育ができるように改革していく。さらに、対象学科が全て職業実践専門課程に認定された事を機に、関連企業との連携を密にしてより実践的なカリキュラム作りを目指し、インターンシップ等も各コース主導で行うことにより、各コースのカリキュラムに組み込んだ実施を検討していきたい。

学校関係者 評価コメント

- ・カリキュラムも明確であり、良いと思います。

学校関係者評価平均 3.9

(3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	4
3-2	資格取得率の向上が図られているか	4
3-3	退学率の低減が図られているか	4
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
自己 総合評価		4.0

成果と課題

就職率は、開校以来ほぼ100%を継続しており、2020年の東京オリンピックやインバウンド需要の増加に伴い、より広範囲で多様な企業より求人が増加している。資格取得については、英検合格率の向上やマナー系資格の団体表彰・個人表彰が増加しており、各分野とも取得率向上を維持している。また、退学率は昨年度の8.5%から4.8%に減少し、特に日本人は1名のみの退学であった。社会的な活躍評価については、卒業生は就職先企業から在校生は校内企業講演会やインターンシップ等でお世話になっている企業より把握している。

今後の改善方策

就職先の充実を図るために就職担当教員を増加し、就職先の開拓と就職活動のルール作りを推進していく。また、資格取得に関しては習熟度別クラス編成や使用教材の開発を推進しながら取得率・成績の向上を目指していく。退学率のさらなる低減に関しては、組織的な面談や出欠席のルール作り、講師間の情報共有を図ることにより実施していく。

学校関係者 評価コメント

- ・学生へのカウンセリング担当の方もいらっしゃり、支援ができる体制になっていると思う。
- ・高い就職率をキープされていることに驚きました。このまま高水準をキープできるように私達も協力したいと存じます。退職退学理由が分かる資料があればより分かりやすかったと思います。
- ・多様な資格取得に対し、子供たちの学ぶカリキュラムも整っていると思います。・専門カウンセリングの担当者を配置していることは、評価できる。
- ・各項目ともに良く実践されていると思います。”

学校関係者評価平均 4.0

#### (4) 学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
4-5	保護者と適切に連携しているか	4
4-6	卒業生への支援体制はあるか	4
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
自己 総合評価		4.0
<p><u>成果と課題</u></p> <p>ホームルーム担任制を徹底し、職員間の情報共有を基本に就職支援をきめ細かく実施している。</p> <p>入学時5月時点で個別面談をじっくり行い、相談内容によっては家庭との連絡を密にすることにより、学生の不安解消に対応している。経済的な支援については、学生奨学金機構との窓口を設置し、分掌として業務化することで遅延なく奨学金申請時の事務手続きをこなしている。特に入学後の申し込みについては、家庭も手続きについて知識が薄いため、説明を丁寧に行って対応している。</p> <p>健康管理は入学時の健康診断を入学後1週間以内に行い、経過観察の必要な学生については学校医との相談も行っている。登校後の保健室利用は極めて低く、感染性の疾病による休講処置も発生していない。</p> <p>保護者との連携は個人面談、カウンセリングの希望、個別の相談に応じて行っているが、特に問題となるケースは発生していない。また、欠席により、学習時間の補充が必要な場合は補講の申請を受け対応している。</p> <p>8期の卒業生を3月に送り出し、同窓会は500名弱の規模になった。これに伴い、卒業生の状況アンケートを実施した。アンケート回収率は50%以上となった。転職をする卒業生、結婚により住所変更をする卒業生が出始めているため、今後の課題として再就職支援のサービスをホームページ等で告知することを検討している。</p> <p>高等学校に対する職業支援は、就職指導についてのスポット授業を依頼されるケースもあるため無償にて対応している。その際には、該当高等学校出身の学生、または、卒業生を同伴するケースもある。</p>		
<p><u>今後の改善方策</u></p> <p>学生の社会参加において、各種団体との連携を強化するとともに、現在実施しているボランティア活動への参画もより充実させることで、学生の社会性の育成にも積極的に取り組んでいきたい。</p>		
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生が支援に満足しているのか気になります。支援体制は整っていると思います。</li> <li>・ 学生奨学金は外国人留学生も日本人学生と同じ条件で利用することはできるのでしょうか？</li> <li>・ 保健室の利用も減っているとは喜ばしい事で、担任制をしいているのは、専門学校としては素晴らしい。</li> </ul>		
学校関係者評価平均		4.0

## (5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	4
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか。	4
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	4
5-5	防災に対する体制は整備されているか	4
自己 総合評価		<b>4.0</b>
<p><u>成果と課題</u></p> <p>講義室・実習室の管理者を組織図上で明確にし、これらを放課後等学生に開放している。教育用機器も頻繁に使用する物については教室に備えつけるようにし、iPad等新しい教育用機器の積極的な導入を行っている。防災に関しては、学生への訓練以外にも職員向けの講座を実施した。休日・夜間警備はセコムのシステムを導入しており、開校日は職員が放課後に当番制で学内の見回りを実施している。</p>		
<p><u>今後の改善方策</u></p> <p>学生の学習環境の充実として、教育教材の充実や健康・防犯に関する学内分掌強化を図ることにより、健全で安全な教育環境を外部専門機関と連携して構築していく。</p>		
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AEDは備わっているか、また学生に非常時の対応方法を教育しているか。またバリアフリーは考慮されているか。</li> <li>・防犯対策は是非教化していただきたいです。</li> </ul>		
学校関係者評価平均		<b>4.0</b>

## (6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4
6-2	募集要項の内容は適切か	4
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	4
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	3
自己 総合評価		<b>3.8</b>
<p><u>成果と課題</u></p> <p>学校案内書・募集要項については例年5月中には当該年度版が完成し、資料請求者等に配布している。また、同時期にHP上でも公開している。本校の学校案内書・募集要項は、他校と比べても情報量が多く、カリキュラムの詳細やコース別・期別の必要経費なども掲載されている。また、募集活動は、月1回のペースで説明会や体験入学を行い、学校の教育方針や授業内容、施設設備の見学など志願者が必要とされる情報を詳細に公開している。教育成果としての就職状況についても開校以来の就職先企業や内定状況を就職先一覧冊子として個別に公開している。</p>		

### 今後の改善方策

認識不足によるミスマッチでの退学者を減少させるという観点と入学希望者個々の適性や意思力を見極めより良い就職成績を実現するという観点から、量的には維持しつつも、入学生の質的向上を目指す募集活動を実行することに重点を置いていきたい。

### 学校関係者 評価コメント

- ・充実した入学案内書類を準備しており、学生とのミスマッチ発生させないよう努力していると思います。
- ・少人数教育、教員(質の良い)に力を入れている。学生への個の認知という観点で非常に良いと思います。
- ・生徒一人一人の事を考え少人数制クラス、教員数を増やすという取り組みは非常に良いと思います。これからも続けていただければと思います。・パンフレットに関しては大変読みごたえがあり分かりやすい内容でした。子供の目標がすぐに定まったのもそのおかげだと思います。・ミスマッチの低減に関しての努力をされていると感じる。
- ・学校案内書を含め、大変よくやられていると思います。

学校関係者評価平均 4.0

## (7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	4
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
7-7	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	4
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
7-9	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	4
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
7-19	自己評価結果を公開しているか	4
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	4
自己 総合評価		4.0

### 成果と課題

学校運営についての業務は組織化され、分掌業務の配分も適切に行われている。特に、定型業務については、職員の業務能力の拡大を期待し、主担当・副担当を置く組織を形成し主担当の不在時での対応も考慮されている。

業務については、稟議・予算執行・報告事項・勤怠管理等がすべて電子システム化されている。教務日誌においても電子化されているため、職員間の情報共有は毎日確認されている。ハラスメント委員会を学生及び職員に告知しているが具体的な問題、相談事項は発生していない。災害・消防計画が整備され、訓練は9月に校舎を共有する静岡産業技術専門学校と連携し実施している。なお、訓練には非常勤講師も参加できている。

職員の人事評価システムは法人組織で一元化され、組織目標・個人啓発目標の設定を基に整備されている。監事監査及び会計士監査を定期的実施し、会計処理の適正について高い評価を受けている。また学校法人のホームページにおいても財務情報をすべて公開している。平成28年度の予算については、理事会承認後計画的に実施し、事業計画(ホテルブライダル実習室の改修工事・ホテルブライダル実習教材の購入・ホームページリニューアル等)についても、すべて実施済みである。

また、退学者数の減少等により平成28年度の決算は、平成27年度決算と比較し、大幅に収支が改善している。(帰属収支差額率平成27年度△4.3%→平成28年度1.1%)

### 今後の改善方策

引き続き平成29年度においても計画的に予算執行を行うと同時に、退学者数の減少及び入学定員を確保することで安定した経営基盤を築いていく方針である。

### 学校関係者 評価コメント

・なし

学校関係者評価平均 4.0

## (8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	4
自己 総合評価		3.7

### 成果と課題

ホスピタリティを重んずる教育理念のもとに、地域のボランティア活動に積極的に参加をしている。また、近隣への貢献としては、学生による清掃活動などを通し身近なボランティア活動を継続的に実施している。

留学生数は全学生数の3割で日本語学校卒業者を中心に受け入れている。生活面での指導は個別に行っている。特に在留資格更新等の法令厳守と、出席率の向上について指導の成果が出ている。出席率の向上は、成績面での成果をもたらすため、教育成果も併せて向上している。

### 今後の改善方策

留学生指導を担当する教員に対しては、在留資格手続業務のスキルを必須として研修参加を積極的に行っている。また、日本語の教授力を向上させる目的で、同法人内の日本語教育研修に積極的な参加をしている。なお、留学生の就職内定成果は毎年向上し、航空関連やホテルなどへの就職を実現している。

学校関係者 評価コメント

- ・通訳ボランティア、外国籍の方々との交流が非常に良く行われている様子。
- ・留学生は、基本的にN3以上を受け入れている。
- ・教室を利用した語学研修(地元の方対象に)などを開催すればイメージアップにもつながるのでは？

学校関係者評価平均

3.9